

# かけはし

氷見

KAKEHASHI HIMI



患者さんと病院と  
地域をつなぐ広報誌



TOPICS ●トピックス

## 金沢医科大学医学部 第5学年臨床実習はじまる 第7回地域医療懇談会

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY  
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL

世界遺産 五箇山相倉合掌造り

CONTENTS ●もくじ

TOPICS	金沢医科大学医学部第5学年臨床実習はじまる	P.01
	第7回地域医療懇談会	P.02
	松木先生の診察室から	P.03
	外来患者さん満足度アンケート調査結果報告	P.04
	診療コラム	P.05
	病院★ニュース	P.06
	病院からのお知らせ掲示板	P.08
	まちかど情報	P.09

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として  
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。

— 金沢医科大学医学部 —

# 第5学年 臨床実習はじまる

患者さんをはじめ当院を訪れた皆さんは、当院の医師、看護師、医療スタッフ等の他に、研修をしている医学部の学生と接したり、目にされた方も多いと思います。

本年4月から金沢医科大学医学部第5学年の必修科目である臨床実習が実施されており、毎週2〜3名の学生が1週間毎に、先生方の熱心な指導の下、へき地巡回診療への同行や各診療科での臨床実習が行われています。

臨床実習は、問診の取り方、患者さんへの接し方を教わり、入院患者の状態を観察しバイタルサインを取るなどの実習をしながら指導医師に質問をし、共に行動することで基本的な知識、技能を身に付ける絶好の機会です。医師国家試験においても医師としての基本的な知識、技能に関する出題が年々増え、重要な領域の一つとされています。学生達は、大学の実習とは違い、期間中は泊まり込みの環境のなかで、臨床の勉強に集中しています。また、氷見市の自然豊かな環境を満喫し、リフレッシュすることができたなどの声が多く聞かれます。

この、医学部臨床実習は、4学年終了時に全国の医学部生が、実習に必要な可欠な知識・技能・態度が備わっているかを評価する「共用試験」及び診察などの実技を評価する「客観的臨床技能試験」を合格した学生に許可されます。当院の病院運営の基本方針には、『住民の健康と生命を守る中核病院としての機能』とともに『良医の育成と医療人の教育・研修を推進します』との方針を掲げており、これまでも、看護、リハビリ他各種医療従事者の養成施設からや、救命救急士の病院実習としてたくさんさんの研修生を受け入れています。

当院では今後も研修・実習に取り組む、良い医療人の育成を心がけたいと思いますので、学生や研修生を見かけられたときは、どうか温かい目で見守ってください。



## 金沢医科大学氷見市民病院 医学部臨床実習プログラム

1. 実習方法 …… 実習は、5学年全員(101名)が、1週間単位で、4月から翌年2月にかけて2〜3名のグループ単位で市内宿泊施設に泊まり込みで行われる。

### 2. 実習時間割

	月	火	水	木	金
午前の部	総合診療科	一般・消化器外科	胸部心臓血管外科	循環器内科	脳神経外科 小児科 総合診療科 皮膚科
午後の部	呼吸器内科 脳神経外科 麻酔科 小児科 泌尿器科 消化器内科 内分泌・代謝科 胸部心臓血管外科	へき地診療	呼吸器内科 脳神経外科 麻酔科 小児科 泌尿器科 消化器内科 耳鼻いんこう科 一般・消化器外科	呼吸器内科 脳神経外科 麻酔科 小児科 泌尿器科 整形外科 循環器内科	呼吸器内科 脳神経外科 腎臓内科 麻酔科 皮膚科

■ 橙色: 必須科 実習生全員が必ず実習しなければならない必修診療科

■ 白色: オプション科 曜日毎に1つの診療科を選んで実習する選択診療科

## 第7回 金沢医科大学氷見市民病院

## 地域医療懇談会

第7回金沢医科大学氷見市民病院地域医療懇談会は、平成26年10月25日（土）午後6時から、氷見市内「くつろぎの宿うみあかり」で開催されました。今年度は地域の23医療機関・施設から24名の病院長、施設長等が出席され、当院からは高島茂樹最高経営責任者、齋藤人志病院院長をはじめ副院長、診療科長等50名が出席しました。

この会議は、地域の病院、医院、介護施設等との医療連携の強化・充実を目的に毎年開催されています。会議のはじめに齋藤病院長から、「本年4月から高島前病院長の任期満了により病院長に就任いたしました。坂本副院長以下スタッフ一同、今後とも一層の地域医療の貢献に努めてまいります。」との挨拶がなされました。引き続き、この一年間の当院の行事等の報告、病院の新役職者、本年度の新任医師紹介がなされました。続いて当院の診療について2つの診療科から最新の診療紹介がなされました。最初に、泌尿器科の森山学教授から「尿路結石症 臨床と研究について」と題して、当院で実施されている尿路結石症の最新の治

療方法が紹介されました。また、「おしつこのことは何でもご相談ください。」と森山教授の専門分野についてわかりやすく説明がなされました。続いて、胸部心臓血管外科の坂本滋教授から、「下肢静脈瘤のレーザー治療について」と題して、最近新たに保険適用となった下肢静脈瘤のレーザー治療について紹介がなされました。このレーザー治療方法は、傷跡が小さいため体への負担が少なく入院期間も短いため近年大いに注目されている治療方法です。

診療紹介終了後の懇親会では、坂本副院長が開会の挨拶を行い、氷見市医師会の澤武紀雄副会長のご発声で乾杯が行われました。先生方の意見交換も活発に行われ、和やかな雰囲気の中親睦が深められました。最後に、松木伸夫院長補佐の挨拶で盛況のうちに会議は閉会しました。

当院では今後このような会を設け、病診連携を図りながら氷見市の中核病院として地域医療に貢献していきたいと思えます。



齋藤人志病院長 概要説明



御出席いただいた先生方



坂本滋教授 診療科紹介



森山学教授 診療科紹介

## 松木先生の 診察室から

### 健

健康管理センターの松木です。  
私は氷見に生まれ育ちましたが、高校卒業以来氷見には住んだことがなく平成23年の4月に45年ぶりに氷見に帰り、現在この市民病院の健康管理センターに勤務しています。

当センターでは、健康診断、住民健診(特定健診、がん検診)、特定保健指導、企業健診、そして人間ドックをしています。今回はこの人間ドックについて少し詳しくお話ししましょう。



金沢医科大学氷見市民病院  
教授・院長補佐  
健康管理センター長

人間ドックには大きく三つの目的があります。

一つ目は、「ああ元氣なんだ」って自分の健康を確認することです。

二つ目は、日本人の死因の第1位であるがんを症状の出ない早期に発見することです。早期に発見することでリスクや浸襲の少ない方法でがんを治すことができます。例えば胃がんに例をとると早期に発見された場合には50%以上の人がたがが開腹することなく内視鏡でがんを切除でき1〜2週間の入院で治ってしまいます。

そして三つ目は日本人の死因の2位、3位を占める脳卒中と心臓病の大きな原因となっている動脈硬化を防止することです。この動脈硬化の原因となっている三大疾病が高血圧、脂質異常症そして糖尿病です。これらの三大疾病を症状の出ない早期に発見し、薬での治療ではなく、生活習慣の改善により発症を未然に防ぐことが必要です。具体的には管理栄養士による食事指導やスポーツジムなどとの連携による運動療法を進めています。

## 松木 伸夫

NOBUO MATSUKI

さて当院の人間ドックのコースは大きく四つに分けられ、「簡易ドック」、「日帰りドック」、「泊ドック」と「脳ドック」があります。それぞれにオプションとして胸部CTスキャンによる肺がん検診、内視鏡による大腸がん検診、内臓脂肪測定、アディポネクチンの測定やCAV・ABI・頸動脈エコーによる血管検査などを設けています。まずは日帰りドックを選んでください。絶食で来ていただき、ほぼ半日で終わります。

また平成24年7月からは新たに二つのコースを設けました。一つは、日本のがんによる死因の50%以上をしめている肺がん、胃がんと大腸がんの早期発見のための「三大がんドック」、二つ目は、氷見の民宿で美味しい海の幸を味わいながら一泊してもらい全身の精査を受けてもらう「氷見民宿一泊ドック」です。特に「氷見民宿一泊ドック」は好評で金沢や能登方面からの来院者が年々増加しています。

おわりに、19世紀の医学は病気を発見し原因を追究してきました。20世紀

は病気の治療に様々な方法で取り組んできました。そして21世紀は予防医学の時代といわれています。50年後には病院は機能別に特化縮小され、代わって健康管理センターが医療予防センターとして大きく生まれ変わると思っています。

健康は人生最大の宝です。人間ドックを通して、あなたの健康と長生きのお役にたてればと思っています。いつでも気軽に相談してください。

### 松木 伸夫 ★ 略歴

#### 【略歴】

- ◎昭和50年 金沢大学医学部卒業
- ◎昭和50年 金沢大学第二外科入局
- ◎平成3年 富山労災病院外科部長・医療局長
- ◎平成23年 金沢医科大学氷見市民病院教授・院長補佐  
金沢医科大学氷見市民病院健康管理センター長

#### 【資格・認定医】

- ◎日本外科学会専門医・指導医
- ◎日本消化器外科学会専門医・指導医
- ◎日本消化器病学会専門医
- ◎日本医師会認定産業医
- ◎人間ドックアドバイザー
- ◎マンモグラフィ読影医



外来患者さん

# 満足度アンケート調査結果

報告



当院では、患者さんに快適で安全な医療を受けていただけるよう医療サービスの向上に努めております。医療サービス向上を図るうえで「外来患者さん満足度アンケート」調査を実施いたしました。

いただいたご意見を今後の病院運営に役立てさせ、より良い医療環境を提供できるように努めてまいります。

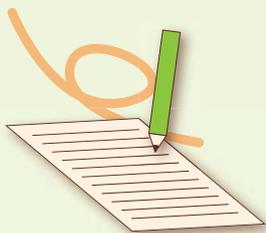
## アンケート実施日

平成26年6月23日(月)25日(水)

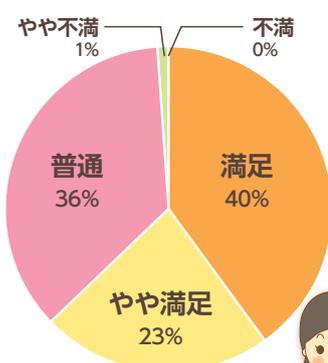
2日間

## 対象者

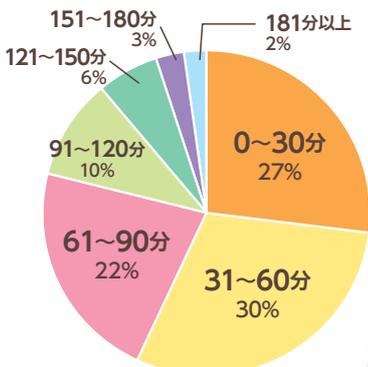
両日外来受診された患者さん



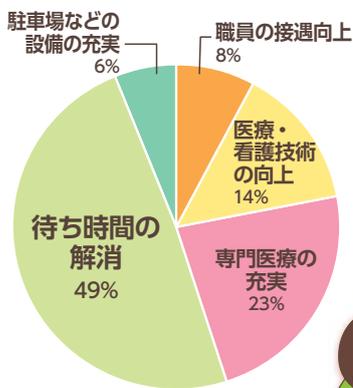
### 案内表示や職員による誘導



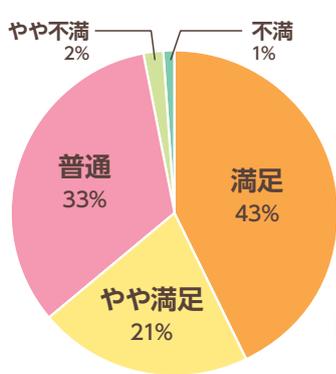
### 待ち時間(受付〜診察まで)



### 今後、望むこと



### 職員の対応



## 病院医療サービス向上

委員長より

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

今回の結果から「診察予約がある場合でも待ち時間が長いことがある」「待合室が狭く、車イスで待つ場所が無い」「職員の言葉遣いや態度の不満」等の回答が多くありました。今後は「待ち時間の短縮」「利用しやすい待合室の工夫」「接遇の向上」など改善対策を検討しながらより良く安全な診療ができるよう医療サービスの向上に努めてまいります。

今後このようなアンケート調査を行いますので、皆様のご意見をお寄せいただけるようご協力をお願いいたします。

病院医療サービス向上委員会

内分泌代謝科 伊藤智彦准教授を栄養部長に管理栄養士4名と、委託会社シダックス17名で構成されています。業務内容は、給食業務や患者さんの栄養管理、病棟でのカンファレンス、栄養指導、糖尿病教室、NSTカンファレンス、特定保健指導などを行っています。栄養部の理念は、「栄養管理はすべての患者治療の基本であり、適正な衛生管理と病態に応じた食事の提供や栄養管理を通してチーム医療に参加すること」です。



栄養指導

病態に応じた指導を、一人一人の食生活に合わせながら行っています。また、当院は高齢の方も多く、嚥下食の指導も行っております。誤嚥防止のために家族の方にトロミ剤の使い方やミキサーの使い方、誤嚥しにくい食材などについて実習や説明を行っています。



糖尿病教室

毎月第2火曜日に、医師や看護師、薬剤師、作業療法士など多職種と連携して行っています。また、年1回「減塩ヘルシークッキング教室」を開き、地域の方とコミュニケーションを図りながら、料理の工夫や病気の

についての知識を身につける講習会を実施しています。11月には世界糖尿病デーのイベントとして、ブルーサークル講演会や減塩レシピの紹介、試食などを行っています。

NST  
カンファレンス・ラウンド

NSTとはNutrition Support Teamの略で、多職種がチームとなり、栄養改善が必要な方を対象に週1回カンファレンスを行っています。主治医からの指示や、検査部からのAlb<sup>※1</sup>やHb<sup>※2</sup>の検査値、褥瘡の有無などをとくに、各病棟の担当看護師と連携を取りながら活動しています。早期に栄養改善され、早期に退院できることを目標に努めています。



特定保健指導

健康管理センターと連携を取り、治療だけでなく予防することにも取り組んでいます。特定健診にてメタボリックシンドロームが疑われる方に対して特定保健指導を行い、生活と運動を組み合わせた改善方法を一緒に考えています。また、希望者にはEBody<sup>※3</sup>を用いて筋力量や体のバランスの測定も行っています。

※1 アルブミン：血清に含まれているたん白質

※2 ヘモグロビン：赤血球中の色素

※3 筋肉量、脂肪量、体脂肪率を測定する機器

食事はすべての方が毎日行うことであり、栄養は生きていく上でなくてはならない物です。入院している患者さんだけでなく、外来の患者さんなど地域の方々が健康な生活を送っていくための手助けができればと思っています。また、食についての知識を多くの方に知っていただき、食を楽しむ「食楽」を大勢の方々に広めていきたいと考えています。

### 「日米友好の木 ハナミズキ」の記念植樹

平成26年10月20日(月)当院において、「日米友好の木 ハナミズキ記念植樹式」が行われました。

富山県高岡市生まれで、石川県金沢市育ちの化学者高峰譲吉博士らの尽力により、1912年に日本から米国へ「桜」を寄贈されてから100年の節目に、米国政府から「返礼」として日本へ「ハナミズキ」3千本が寄贈され、今回その内の3本が当院に植樹されることとなりました。

平成24年6月に、高峰譲吉博士に纏わる「ワシントンの桜・里帰り事業」



並びに、本学創立40周年記念事業の一環として「高峰さくら」が当院に植樹されてから2年が経ち、今回は、その企画に関連した北國新聞社が実施する「日米友好の木 ハナミズキいしかわ植樹事業」への協賛により正面玄関前緑地帯において、高島茂樹CEOや齋藤人志病院長をはじめ病院職員等の関係者約20名が出席し行われました。高島茂樹CEOから「2年前に植樹した「高峰さくら」と共に大木に成長し、患者さんや職員等の癒しになることを期待したい」と、齋藤人志病院長から「地域医療貢献のシンボルとして大きく成長してほしい」との挨拶がありました。



### 予防接種の案内 (インフルエンザ・肺炎球菌)

インフルエンザと肺炎球菌感染症の予防接種は、一部公費負担で接種することができます。対象年齢の方は期間中に予防接種を受けましょう。詳しいことは医事課窓口へお問い合わせください。

#### 【受付場所】

病院エントランスホール内

「予防接種受付」

対象の方は、健康保険証と予防接種案内はがきをご持参ください。

#### \*インフルエンザ

#### 期 間:

平成26年11月4日(月)～  
12月25日(木)  
月曜～金曜の午前8時30分～11時  
午後14時～16時

#### 助成対象:

小児	一般	
	初回	65歳未満
2回目	3,700円	1,500円
	2,700円	3,700円

(消費税込)

#### \*肺炎球菌感染症

#### 期 間:

平成26年10月1日(水)～  
平成27年3月31日(火)  
月曜～金曜の午前8時30分～11時、  
午後1時～3時30分

#### 助成対象:

平成26年度対象者年齢  
(今年度左記の年齢になる方)

65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、  
90歳、95歳、100歳、101歳以上  
60歳以上、65歳未満で心臓、腎臓  
もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害のある方(身体障害者手帳1級相当)  
個人負担金:  
3,000円(消費税込)

対象者以外の一般の方は  
個人負担金7,700円(税込)

#### 注 意:

対象年齢の方は期間を過ぎると一部負担で接種することができませんので期間内に接種することをお勧めします。詳しくは医事課窓口へお問い合わせください。

## 平成26年度 感染対策研修会 「地域での感染拡大防止を 目指して」

平成26年9月25日(木)、当院の6階多目的ホールにおいて、金沢医科大学病院感染制御室課長・感染管理認定看護師の野田洋子さんを講師に招き感染対策研修会が開催されました。この研修会は医療・介護施設での感染の基本知識を深め、共通した対策を実施できることを目的として平成25年度より医療安全対策部感染対策室が主催して行っています。福祉関係より氷見市社会福祉協議会地域福祉研修センター氷見、今年度からは行政関係より高岡厚生センター氷見支所の共催をいただき開催しています。対象は氷見市内の医療・介護従事者で、当日は当院の職員、厚生センター職員、介護福祉士など介護職員など15名の参加がありました。

「地域での感染拡大防止を目指して」と題して、感染対策は標準予防対策が基本となり、感染症別に経路別予防対策を加えて行うことが必要であることや、標準予防対策では手指衛生の方法やタイミング、



防護具の着脱、環境の清掃のポイントについて説明されました。それに加え、秋から冬にかけて流行し、拡大防止が重要となるノロウイルス対策についても取り上げられ、これからすぐに活かすことができる内容でした。

介護施設によっては防護具が十分に使用できないなどの悩みをよく聞くことがありますが、感染対策の基本は手指衛生であり、必要なタイミングで手指衛生を実施することで拡大を防ぐことができることを再認識した研修でした。



## 富山県防災ヘリとの 患者搬送連携訓練

平成26年9月9日(火)氷見市北大町比美乃江公園芝生広場において、富山県消防防災航空隊と氷見市消防署が合同で救急訓練を実施しました。当院からも胸部心臓血管外科坂本大輔助教とICU勤務の庄谷和真看護師が患者搬送時の連携確認で参加しました。山林で倒木の下敷きになった男性傷病者を救助し、ヘリコプターで搬送するとの設定で行われました。参加者は実臨床さながらに傷病者を迅速に搬送するための動作を確認しました。

このような他の機関と合同に訓練することで、実際の場合に迅速に対応でき、より早く救命救急が行われることを実感しました。当院では今後このような合同訓練に参加し地域医療に貢献していきます。



## 第2回腎不全患者 家族研修会

血液浄化センターでは、平成26年10月5日(日)に当院6階多目的ホールにて腎不全患者さんとそのご家族の方を対象とした研修会を開催しました。この研修会は今年が2回目で、「家族と歩もう腎不全」をテーマに、大串勇氣医師から「適正体重のお話」、大越美根子薬剤師から「腎不全の薬物療法」の講演がありました。また平野貢三子看護師からはピアサポートを題材にした「透析患者さんの語りを聴こう」が報告され、60名の参加者は熱心に聴講・質問されていました。休憩時間には、長谷恵管理栄養士の協力のもと腎不全治療に役立つ食品などの試食会が催されました。「低カリウムレタス」や「タンパク質調整カップ焼きそば」などを全員で試食し、普段は制限されている生野菜やインスタント食品を賑やかに食べることができました。リハビリテーションに対する質問では守雅之理学療法士によるアドバイスもいただきました。参加された方々からは「来年もまた楽しみにしています」とうれしい声かけをいただきました。



## 英会話教室

平成26年10月15日(水)教育研修棟2階合同カンファレンス室において英会話教室が開催されました。これは、当院においても外国の方が受診することがあり、今後、病院のレベルUPを図るには、グローバルな視点からの職員研修も必要とのことで、受付から診療までの過程で使用される医療英会話の習得を目的として金沢医科大学の一般教育機構 人間科学領域 英語 渋谷良穂教授と、クレイグ・ウッズ講師に指導をお願いしました。



今回は24名の参加があり、約1時間半の教室の中で体の部位の呼び方、症状の表現やロールプレイによる会話の



練習が行われました。院内の配置図を参考にしながら、患者さんの案内を想定した練習では、受講者は場面ごとの受け答えを考えながら会話をを行うなど、とても実践的な内容でした。

講師の先生からは、困っている外国の方を見かけたら進んで声をかけて欲しいことや、何度も声に出して練習することが大切であることが伝えられ、受講者からは、「少し難しかったが大変勉強になったので次回も参加したい」との感想がありました。今回の教室がきっかけとなり、外国の方々も安心して治療を受けていただける病院となることが期待されます。

## 回復期リハビリ病棟秋のイベント 「昭和歌謡ショー」

平成26年10月16日(木)回復期リハビリテーション病棟において「昭和歌謡ショー」が、入院患者さんやご家族の方約50名が参加し開催されました。

今回は、ボランティアで風見座の皆さんに華やかな唄や踊りを披露していただきました。座長の山下栄憲さんの司会で、病院をテーマにした漫談から始まり会場はすぐに和やかな雰囲気になり、笑いに包まれました。「氷見よさこい」などの踊りや、「細雪」の歌などが演じられました。また2名の入院患者さんも参加し唄われました。お一人の方は毎日病棟で練習をし、ようやくこの日を迎えられることに感動に、本人はもちろん観ている人の涙も誘い感極まりました。もう一人の方はあまりの上手さに、スタップも驚きながら唄に聞き入る場面となりました。

入院患者さんにはこのひと時が癒しの時間となり、この後のリハビリ訓練の励みとなりましたことと思えます。秋の晴れのさわやかな日に、このような時間を過ごすことで病棟全体が暖かい空気に包まれた一日となりました。



## 病院からのお知らせ掲示板

● クリスマス  
コンサート開催

日時:12月20日(土)13:30  
場所:金沢医科大学氷見市民病院  
1階A受付前(待合室)  
演者:イタセンパラ楽団、  
当院スタップ



● 年末年始休診について

12月28日(日)～1月4日(日)までの8日間は外来診療を休診します。

急病の場合は救急外来を受診してください。受診する際は、必ず健康保険証をご持参ください。

また、休日や夜間等の時間外は専門医師が少なく救急診療体制となっておりますので、緊急を要しない場合は通常の診療時間内に専門診療外来を受診されるようお願いいたします。

## 病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

## 患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平にうけることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報 は 厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にして頂くため、セカンドオピニオンを受けることができます。

## 患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。

## 氷見の獅子舞

氷見には100以上の地区で獅子舞が行われており、9月、10月の週末になると、あちこちで獅子舞の太鼓、笛、鉦の音と威勢のいい囃子の声が聞かれます。氷見の獅子舞の特徴は、地域の各家々で、テンポのよい太鼓の音に乗り天狗と獅子が飛び跳ね躍動感あふれる戦いを演じ、最後は「獅子殺し」と言われる舞で締めくくります。見どころはたくさんありますが、その年に結婚した家で行われる「ヨソブリ」はお祝いの特別な舞であり荘厳な雰囲気は別格です。



## エコロジーガーデン

ecology garden

香港カポック  
(ウコギ科 フカノキ属)

花言葉「とっても真面目」

香港カポックはやや厚丸みのある濃いグリーンで、10枚ほどの葉っぱが手のひらを広げたような形をしています。木が大きく育ち、古くなるにつれ白みがかった花が咲きます。最近は品種改良され花も実もつかない手入れの楽なタイプもあります。冬越しも容易なためとても育てやすく人気があります。

実から採れる繊維は撥水性に優れているため、第二次世界大戦中は救命胴衣に利用されていました。そのため今でも競艇業界や海上自衛隊では救命胴衣のことをカポックと呼んでいるそうです。



スポンサー  
企業

- (有)アカシア商会 ●サカキ産業株式会社 ●たんぼ薬局 氷見店 ●株式会社つばめ交通タクシー ●ニッショク株式会社 ●日本海綿業株式会社 ●株式会社ビー・エム・エル ●氷見伏木信用金庫 ●ファーマライズ株式会社 ●北陸ココ・コーポリング株式会社 ●北陸総合警備保障株式会社 高岡支社 ●株式会社山下設計 ●米沢電気工事株式会社 ●菱機工業株式会社 ●株式会社ワールドシンコー

## 表紙について

世界遺産 相倉合掌づくり集落は国指定史跡で、1995年に世界文化遺産として登録された文化財保護地域です。23棟の合掌づくり家屋があり、現在も地域住民が60名ほどがこの集落で生活しています。雪深い厳しい冬に対応できるように建築されたのが合掌づくりの特徴だそうです。

## 編集後記

食べ物おいしい季節となりました。「食欲の秋」と言われますが、なぜそう言われるかご存知ですか？諸説あるそうですが、秋は収穫の季節であり旬な食材がたくさんあるのに加え、過ごしやすいため、夏の暑さで溜まった疲れや衰えていた身体が回復するため食が進むそうです。これから冬に向け忘年会やクリスマスパーティー、そしてお正月、新年会と楽しいイベントが目白押しです。私自身も年を追うごとにお腹回りが成長してきましたが、「食べすぎ・飲みすぎ」に注意しながらおいしい季節を味わいたいと思います。

金沢医科大学氷見市民病院 かけし秋号編集委員 池上 顕弘

## ■広報誌「かけし 氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけし」となることを願って命名されました。